



報道関係各位

2012年9月4日

インテル株式会社
KCJ GROUP株式会社

こどもが主役の街「キッズニア東京」 インテルが『サッカースタジアム』 パビリオンを出展

～キミの夢が叶う！！～

インテル株式会社（東京本社：東京都千代田区丸の内3-1-1、代表取締役社長：吉田和正、以下：インテル）は、KCJ GROUP株式会社（本店：東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO：住谷栄之資、以下KCJ GROUP）が企画・運営を行なう、“こどもが主役の街”「キッズニア東京（KidZania Tokyo）」のオフィシャル・スポンサーとして、『サッカースタジアム』パビリオンを9月21日（金）^{（注）}にオープンいたします。

キッズニア東京を訪れる子供たちは、『サッカースタジアム』パビリオンでシュートの練習を行ない、ゴールにシュートを決めるときのシュート・フォームを連続写真に収めたり、シュートの速度を測定することができます。この結果は診断シートとしてプリント・アウトされ、シュート・フォームを確認したり、コーチからアドバイスを受けることができます。また自宅では、Ultrabook™などインターネット接続されたパソコンから、診断シートに記載されたURLに専用のIDを使いアクセスすると、子供が『サッカースタジアム』で大勢の観客の声援を受けながら試合に出場し、ゴールを決めて歓喜するシーンを視聴することができます。このショート・ムービーには、子供が実際にシュートする映像が含まれるため、迫力と臨場感にあふれたショート・ムービーを楽しむことができます。ショート・ムービーは、ダウンロードして、家族や友達と一緒に楽しむこともできます。

インテルは、『サッカースタジアム』パビリオンでの体験を通じ、子供たちがスポーツの楽しさを体感するとともに、実写を含めた迫力ある映像によって、テクノロジーに対する



子供たちの興味を喚起することを目指します。インテルの『サッカースタジアム』パビリオンは、リアルとバーチャルが織りなす体験によって、子供たちがテクノロジーをより身近に感じ、創造力の向上に役立てることができると期待しています。

◆インテル会社概要

社名：インテル株式会社

本社所在地：東京都千代田区丸の内 3-1-1

代表者：代表取締役社長吉田和正

設立：1976年 4月 28日

資本金：4億 8千万円

事業内容：半導体を通じて、人々の仕事と生活をさらに豊かにする先進的な技術と製品を開発、提供。主要製品としてインテル® Core™ i7 プロセッサ、インテル® Core™ i5 プロセッサ、インテル® Xeon®プロセッサ、インテル® Atom™プロセッサなどのマイクロプロセッサ製品、およびフラッシュメモリー製品などを販売。

URL：<http://www.intel.co.jp/>

◆KCJ GROUP 会社概要

社名：KCJ GROUP株式会社

本店所在地：東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 2階

代表者：代表取締役社長兼CEO住谷栄之資

設立：2004年9月27日

資本金：2億5,200万円

◆キッズニア東京施設概要

施設名：キッズニア東京 (KidZania Tokyo)

所在地：東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドックららぽーと豊洲ノースポート3階

延床面積：約1,800坪 (約6,000㎡)

パビリオン数：約60

年間来場者数：約83.5万人 (2011年度実績)

定休日：不定休

URL：キッズニア東京オフィシャルサイト www.kidzania.jp/tokyo/



【インテルについて】

インテルは、コンピューティング技術の革新を通じて人々の絆を深め、より豊かな生活を実現するというビジョンのもとに、人々の仕事と生活をさらに豊かにする先進的な技術と製品を開発、提供しています。

【キッズニアについて】

「キッズニア」は、メキシコのKZM社（本社：メキシコ・シティ、CEO：ハビエル・ロペス）によって開発された、子ども向けの職業体験施設で、3歳から15歳までの子ども達を主な対象とした、様々な職業を通じて社会のしくみを体験することができる「子どもが主役の街」です。現実社会のほぼ2/3のサイズで造られた、60以上の実在する企業が出展するパビリオンが、リアルな街並みを形成しており、その中で90種類以上の職業・社会体験をすることができます。

* Intel、インテル、Intel ロゴ、Ultrabookは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。

(注) オープンは9月21日第2部（16:00～21:00）からになります。
